

図書館からのお知らせ

発行日 2016.10.17
豊橋技術科学大学附属図書館

<http://www.lib.tut.ac.jp/oshirase/201601017.pdf>

お知らせ News

B1-201で開館して早1ヶ月。10月に入って新学期が始まり、学生の方も多く仮図書室を訪れてくださるようになりました。小さな部屋なので、資料も閲覧席も少なく御迷惑をおかけしていますが、皆さん静かに過ごしていただいています。

さて、10月27日から11月9日は読書週間です。終戦間もない1947年から続いており今年第70回目。「いざ、読書。」が今年の標語です。



仮図書室にも手軽に読める新書や海外小説を集めた光文社古典新訳文庫なども置いています。どうぞご利用ください。

仮図書室用の利用案内

仮図書室(B1-201)用の利用案内を作成しました。貸出冊数などは変更ありませんが、施設など利用できないものが多くありますので、修正しました。

図書館ホームページからもダウンロードできます。

【学内者用】

http://www.lib.tut.ac.jp/guidance/annai_gakunai_rev.pdf

【学内者用 English ver.】

http://www.lib.tut.ac.jp/guidance/annai_eng_rev.pdf

【学外者用】

http://www.lib.tut.ac.jp/guidance/annai_gakugai_rev.pdf

【単位互換学生用】

http://www.lib.tut.ac.jp/guidance/annai_tadaigaku_rev.pdf

【図書館改修工事情報】

<http://www.lib.tut.ac.jp/guidance/kaisyu.html>

Powder Diffraction File 2016年版に更新

Powder Diffraction File (PDF2plusX) は粉末X線回折による物質の同定に使用するデータ集です。

2016年版が利用可能になりました。仮図書室内の専用端末で検索してください。

カード番号、鉱物名、物質名、3強線などから検索できます。

目次:

お知らせ

- ・ 仮図書室用の利用案内 1
- ・ Powder Diffraction File 2016年版に更新 1

トピックス

- ・ 企画展示 論文・レポート作成に役立つ図書 2
- ・ ノーベル賞関連図書・論文 2
- ・ オープン アクセス ウィーク 3

知って得する利用ガイド

- ・ 仮図書室で利用できない論文を入手する方法 4

2016年 10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2016年 11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

通常(有人)開館時間	日付
9:00-20:00	10/3-5,7,11-14,17-21,24-28,31 11/1-2,4,7-9,11,14-18,21-22,24-25,28-30
13:00-17:00	10/8,15,22,29 11/5,12,19,26
なし (特別開館なし)	10/1-2,9-10,16,23,30 11/3,6,13,20,23,27
12:00-20:00	10/6, 11/10

トピックス Topics

本学を含め、学術情報などに関する話題をお届けします。

企画展示 論文・レポート作成に役立つ図書

カウンター横の書架にて、「論文・レポート作成に役立つ図書」の企画展示を行っています。論文やレポート作成、論文発表のプレゼンテーションに関する図書です。貸出も可能です。冊子体の図書以外にも、電子ブックで利用できる図書もあります。図書リストを記載した、下記ガイドも作成しましたので、どうぞご利用ください。

【お役立ち資料ガイド】

No.3 テーマ:レポート・論文を書く 2016改訂版

<http://www.lib.tut.ac.jp/literature/bookguide3.pdf>

No.4 テーマ:プレゼンテーション・学会発表

<http://www.lib.tut.ac.jp/literature/bookguide4.pdf>



ノーベル賞関連図書・論文

今年度のノーベル賞の受賞者が発表になりました。これまでの受賞者に関連する図書なども、図書室に配架しています。また各出版社が、今年度受賞者の研究論文を期間限定で無料公開しています。各社のWebサイトを参照してください。

【ノーベル賞サイト】 <http://www.nobelprize.org/>

【関連図書】

「オートファジー：生命をささえる細胞の自己分解システム」 水島昇, 吉森保編 化学同人, 2012.12
請求記号 463.6MI

※2016年医学生理学賞を受賞された大隅良典先生の研究されている「オートファジー」に関連する図書

「ノーベル賞の生命科学入門－RNAが拓く新世界」 菊池洋著 講談社, 2009.10

教員著作物コーナー 請求記号 464.27KI

※1959年のオチョア氏の「RNA合成」から2006年のファイア氏・メロー氏の「RNA干渉の発見」までノーベル賞を受賞した研究を解説。第1章:菊池洋先生, 第3章:田中照道先生, 第8章:浴俊彦先生執筆

「マンガはじめましてファインマン先生：超天才物理学者の頭の中」 ジム・オッタヴィアニ原作
新書コーナー(講談社ブルーバックス) No.1832 講談社, 2013.9

※自伝「ご冗談でしょう、ファインマンさん」請求記号 289.3FE11-2も有名。1965年に、リチャード・P・ファインマン氏はジュリアン・S・シュウインガー氏、朝永振一郎氏 とともにノーベル物理学賞を共同受賞。

「僕がノーベル賞をとった本当の理由：子ども時代のすごしかた」 益川敏英著 フォーラム・A, 2009.8
知の泉コーナー 請求記号 289.1MA

※2008年に益川氏はノーベル物理学賞を南部陽一郎氏、小林誠氏と共同受賞

など

【雑誌論文など】

★Wiley

• <http://www.wiley.co.jp/blog/pse/?p=34862>

ワイリー社、ノーベル医学生理学賞東工大・大隅良典氏のノーベル財団が引用した主要論文4報を無料公開中。

★Springer

• <http://bit.ly/2dCQGPn>

ノーベル化学賞を受賞、Jean-Pierre Sauvage, J Fraser Stoddart, Bernard Feringa 3氏のシュプリングアの書籍やジャーナルに出版されたすべてを集めた特設ページを作成。

• <http://bit.ly/2dxLaiP>

大隅良典氏の著作をまとめた特設ページを作成。

両者ともに12月12日まですべての掲載論文について無料アクセス可。

★Nature

• <https://www.facebook.com/NatureJapan/?fref=fb>

(NatureJapan FaceBook 10月3日,10月7日記事参照)

大隅良典氏の Natureダイジェスト2015年10月号コラムなどを無料公開中。

■ オープン アクセス ウィーク

オープンアクセスウィーク(OOPEN ACCESS WEEK: OAW)が10月24日から30日の間、開催されます。



オープンアクセスウィークは、アメリカのSPARC(Scholarly Publishing and Academic Resources)が主催する、オープンアクセスの意義を周知する世界的なイベントです。毎年10月に、オープンアクセスに関する催しが世界各国で集中開催されています。今年のテーマはOpen in Action です。

【Open Access Week Web サイト】 <http://openaccessweek.org/>

オープンアクセスを実現する方法のひとつである機関リポジトリを本学でも構築しています。

2013年2月に正式公開し、学位論文や紀要「雲雀野」論文、ご提供頂いた雑誌論文などを電子的に蓄積・保存し、インターネットを通じて無償公開しています。論文を投稿された際には、本学機関リポジトリへの登録もぜひお願いいたします。

【豊橋技術科学大学学術機関リポジトリ】 <http://repo.lib.tut.ac.jp>

平成27年度末現在	論文PDF本文ファイル登録件数	741件
	論文メタデータのみを含めた登録件数	1,762件
	閲覧回数合計	45,184件
	ダウンロード回数合計	37,312件

【図書館からのお知らせ 学術機関リポジトリへ論文等ご提供のお願い】

<http://www.lib.tut.ac.jp/oshirase/repo3.pdf>

図書館の利用, 文献検索など, 使って欲しい便利な機能について, 順次お知らせします。是非ご利用ください。

■ 仮図書室で利用できない論文を入手する方法

現在, 図書館改修工事中につき, 利用できる雑誌が限られています。もともと所蔵していた雑誌で, OPACに所蔵が表示されても利用できない場合が多くあります。

現在利用可能なのは, 2016年受入中の雑誌, 2015年分製本雑誌です。利用できない雑誌に掲載されている文献については, 他機関からの取り寄せになります。

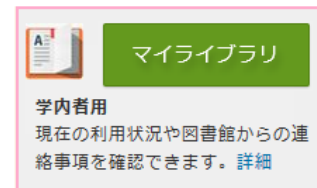
【参照ガイドシートNo.7】 他大学から文献コピーを取り寄せる, 図書を借りる

<http://www.lib.tut.ac.jp/literature/gsheet7.pdf>

★他機関からの複写物取り寄せを依頼する方法 (2つの方法があります。)

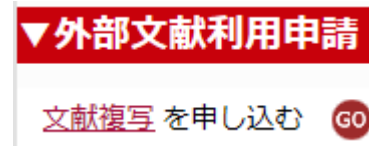
1. Webから複写依頼する方法

Webから依頼をしたい場合は, あらかじめ「申請書」の提出が必要です。「[Webからの文献複写・現物貸借依頼システム利用申請書](#)」(pdf)に記入して情報サービス係へ御提出ください。設定完了後, 利用できるようになります。



既に設定済みの方は, 「マイライブラリ」に情報メディア基盤センターのアカウントでログインしてください。マイライブラリ画面 下の方の操作メニュー **依頼** 「**文献の複写**」から申込みできます。

また, Scopusなどのデータベースの画面に表示されている TUT Linkボタンから入り, 「**外部文献利用申請**」の項目 **GO**から文献複写依頼すると, 雑誌名, 巻・号・ページ, 論文名などが自動的にマイライブラリの文献複写依頼画面の各項目に張り付きます。こちらの方法がとても便利でおすすめです。



2. 「文献複写申込書」に記入して仮図書室カウンターへ依頼

(教職員の方は学内便での情報サービス係への送付も可です。)

文献複写申込書 excel日本語版 <http://www.lib.tut.ac.jp/guidance/bunken-order.xls>

文献複写申込書 excel英語版 <http://www.lib.tut.ac.jp/guidance/bunken-order-eng.xls>

文献複写申込書記入例 <http://www.lib.tut.ac.jp/guidance/kinyurei.pdf>

★Google Scholar の便利な利用

図書館では, 複写依頼をしていただいた文献を, 再度 **Google Scholar** <http://scholar.google.co.jp/>などで検索し, 無料公開されているサイトがないか確認を行っています。Google Scholarで文献を検索された場合は, リスト右側のリンクを一度クリックしてみてください。大学で契約しているパッケージ以外でも, ResearchGateのページなどで本文が入手できる場合があります。

※過去のお知らせは,

http://www.lib.tut.ac.jp/oshirase/mail_oshirase.html

こちらのページからご覧いただけます

